



しにがみさん
やなぎやこさんし
 柳家小三治・落語「死神」より

お金がなくて困っている若い父親に、死神は「お前は今日から死神が見えるから、医者をやれ」と助けてくれるが…。最後のページを開けた時の子供の表情がなんともいえない。

野村 たかあき/作/絵
 柳家 小三治/監修
 教育画劇
 2004年 ¥1300



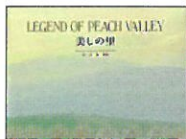
葉っぱのフレディ
 いのちの旅

自然と命の営み。生きることの意義をフレディが教えてくれます。どの季節も葉っぱの美しさがあり、生まれてから老いるまでのことを葉っぱを通して表現しています。

レオ・バスカーリア/作
 みらい なな/訳、
 島田 光雄/画
 童話屋
 1998年 ¥1500

美しい里

現代の桃源郷伝説で大人向けの物語。ストレス社会に生きる現代をどう生きるか。幸せになりたかったらというPrologueは生き方に示唆を与える。



葉 祥明/絵・文
 マーサ・マクリンク/英訳
 自由国民社
 2001年 ¥1500

半日村

日当たりの悪い村に住む少年が、一人で始めたことは、やがて人々を動かし偉業となる。未来につなげることを考えさせられる本。教科書でも取り上げられたお話。



斎藤 隆介/作
 滝平 二郎/絵
 岩崎書店
 1980年 ¥1500



たいせつなこと

ひとつひとつのものに、それぞれの「たいせつなこと」が存在する。アメリカで、1949年発行以来読み継がれている本書が、2001年内田也哉子氏の翻訳により、初めて日本で発行されて既に20年弱。きっと日本でもロングセラーになるだろう。

マーガレット・ワイス・ブラウン/さく
 レナード・ワイスガード/え
 うちだ ややこ/やく
 フレーベル館
 2001年 ¥1200

現在購入できる版の出版年
 を掲載しています。
 価格は2019年2月現在の本体
 価格です。

掲載については出版社の許諾を
 得ています。
 無断で転載することを禁じます。



2019年3月発行
大洲市立図書館

子供とともに 本をひらこう 未来のページ
 (『第2次大洲市子供読書活動推進計画』より)

ボランティア
 おすすめ

**うちどく
 絵本リスト**

中学生版



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。
 「うちどく」で家族のきずなを 深めましょう!

毎月第3日曜日は「うちどくの日」

●うちどくをはじめるなら、まずは絵本がおすすめ! ●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。そこで、市内の学校や施設で読み聞かせ活動をされているボランティアのみなさんに、家族で読んでほしい本を、絵本を中心におすすめしてもらいました。

みえるとか みえないとか

目が見えない人が感じている世界は単に「見えない」だけの世界ではない。「目の見えない人は世界をどう見ているのか」伊藤亜紗光文社新書を読むきっかけになれば…。



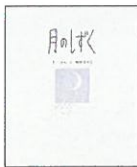
ヨシタケ シンスケ/さく
 伊藤 亜紗/そうだん
 アリス館
 2018年 ¥1400



生きる

詩も絵も独立した、素晴らしい作品。クッスツと笑えるくいま>が描かれた箇所を探しあってみるのも楽しい。

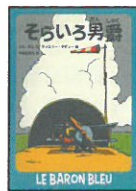
谷川 俊太郎/詩
 岡本 よしろう/絵
 福音館書店
 2017年 ¥1300



菊田 まりこ/え・ぶん
WAVE 出版
2017年 ¥1500

月のしずく

じんわりと心にしみる、やさしい^{くわ}寓話。絵のみのページが、しっかり物語ってくれていることから、人が再起するときに出会う本としてここに紹介したい。



シル・ポム/文
ティエリー・デュー/絵
中島 さおり/訳
主婦の友社
2015年 ¥1300

そらいろ男爵

そらいろの飛行機に乗って、鳥を眺めるのが好きな^{だんしやく}男爵。やがて戦争が始まります。戦争を終わらせるために使ったものは武器でも^{だんやく}弾薬でもなく…。

すきになったら

すきになったら、しりたくなる。「すき」という気持ちを綴った文章と、独特の世界観を持った絵に、しっかり考えさせられる。大人向けの絵本。



ヒグチ ユウコ/作
ブロンズ新社
2016年 ¥1400

ぼくは、ブルーノ

ぼくはサルだけど、人間が好きだった。ぼくも人間になりたかった。ブルーノがたくさん考えて選んだ答えは？大人には大人の、子供には子供なりの感じ方があるはず…ぜひご家族で！



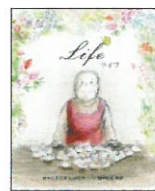
デイヴィッド・カリ/文
ジャンルカ・フォリ/画
さとう ななこ/訳
ワールドライブラリー
2015年 ¥1800



カイル・ミュールバーン/文
ヴァサンティ・アンカ/絵
おおさく みちこ/訳
ワールドライブラリー
2016年 ¥1500

やまとあな

隣り合う山と穴を主人公にしたお話。山には山の、穴には穴の良さがあるけれど、お互いに羨ましく思って一度入れ替わってみることに…。個性を大切にしようね。あなたにはあなたの良さがあります。



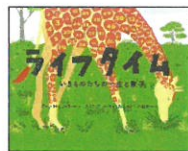
くすのき しげのり/作
松本 春野/絵
瑞雲舎
2015年 ¥1300

Life

それぞれに大切にしていたものを持ち寄り、気に入ったものを持ち帰るといふ小さなお店が舞台。ものに込められた思いが人と人をつなぎ、幸せをもたらして…。人生とは、人と人と物との絶妙なバランスと絡まりあいの中で歩いていくものかも。

ライフタイム いきものたちの一生と数字

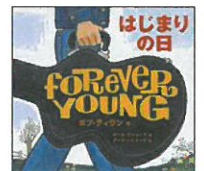
生きものたちの一生と、そこにかくれる^{おどろ}驚きの数を紹介するユニークな科学絵本。最初は「ふんふん」とうなずき、段々と「へえー！」と声をあげてしまう本です。



ローラ・M.シェファー/ぶん
クリストファー・サイラス・コール/え
福岡 伸一/やく
ポプラ社
2015年 ¥1500

はじまりの日

ボブ・ディランが息子のことを思いながら作った名曲『Forever Young』を絵本にしたもの。子供に伝えたい親(大人)の思いにあふれた本。



ボブ・ディラン/作
ポール・ロジャース/絵
アーサー・ピナード/訳
岩崎書店
2010年 ¥1600



中川 ひろたか/作
ミロコマチコ/絵
金の星社
2014年 ¥1300

うそ

だれ^{だれ}誰もが知っていて使っている言葉「うそ」。それって何？考え始めたら、哲学的思考の世界にそれとは気づかず入っていく。家族みんなで楽しみながら考えてほしい。



原田 宗典/作
袖木 沙弥郎/絵
教育画劇
2006年 ¥1300

ぜつぼうの濁点

絶望させません！日本語の不思議さやすばらしさに気づかせてくれる絵本。ぜつぼうに仕える濁点「。」は、自分がいるからご主人が絶望するのだと、旅に出ますが…。

わたしは あかねこ

みんな違っていてそれでいい。あなたはあなたのまま、ありのままでもとっても素敵だよ。思春期の子どもたちに、そんなメッセージを伝えたい。幼年期から読めるやさしい絵本ですが、ふっと手に取って読んでほしい絵本。



サトシン/作
西村 敏雄/絵
文溪堂
2011年 ¥1300

おじいちゃんがおばけになったわけ

大好きだったじいじが、おばけになって、ぼくのところにやってきます。じいじがこの世に忘れたものとは何だったのでしょう？亡くなった人、残された人、それぞれの思いを感じ、じんわりと胸が熱くなるお話です。



キム・フォップス・オーカリソ/文
エヴァ・エリクソン/絵
菱木 晃子/訳
あすなろ書房
2005年 ¥1300